

2024年度

事業報告

2024年4月1日から
2025年3月31日まで

公益財団法人 神林留学生奨学会

1. 事業活動

(1) 外国人留学生奨学金支給事業／活動、研究への助成事業

①2024年4月24日(水)

選考・審査委員会開催。2024年度奨学生として、大学院生15名の採用を決定（新規採用11名、継続採用4名）。同研究助成10件の採用を決定。

②2024年4月30日(火)

採用者および大学宛に採用通知発送。研究助成採用通知発送。

③2024年4月1日(月)～2025年3月31日(月)

2024年度奨学生15名に各14万円を月々支給（但し、4・5月分は5月に支給）

【総額：2,520万円】。2024度研究助成では、年間100万円の8件に対し、5月に各50万円、11月に残りの50万円を支給した。年間50万円の2件に対しては、5月に50万円を支給した。11月18日(月)に決議された選考・審査委員会書面決議と11月22日(金)に決議された理事会で、追加の研究助成1件の採用が決定し、12月に10万円を支給した【総額：910万円】。

④2025年1月16日(木)

2025年度募集書類（推薦依頼）を指定大学（37校）宛に発送（東京医科歯科大学と東京工業大学の統合により指定校は38校から37校となったが、旧東京医科歯科大学と旧東京工業大学からは、それぞれ推薦してもらうよう依頼）

(2) 奨学生に対する主な奨学支援事業【総額：3,763,550円】

①2024年5月18日(土) 【支出合計額：344,945円】

「2024年度奨学生採用式」を上野精養軒で開催。また、採用式終了後の歓迎昼食会では奨学生、研究助成者と財団役員の交流を図り、あわせて生活指導を行った（出席者31名）。

②2024年9月30日(月)

奨学生の「エッセイ、小論文」、研究助成者の「研究中間報告」の提出締切。奨学生の、日本と自国に対する思いや留学での関心事、研究内容等を把握する上で大変役立つ。同時に、生活指導の資料として貴重なものとなった。役員の方々にも奨学生の小論文のコピーを郵送した。

③2024年12月22日(日) 【支出合計額：1,908,909円】

年末交流会を上野精養軒で開催。奨学生、研究助成者、奨学生OBとその家族、

財団役員が一堂に集い、相互交流を図り親睦を深めた。今年は上映会に参加された方々もご招待した（参加者94名）。

④2025年2月

奨学生に対し、卒業の可否、次年度の進級・進路予定等の確認を行った。

⑤2025年3月12日(水)【支出合計額：552,455円】

「2024年度研究報告会・送別会」を上野精養軒で開催した。奨学生や研究助成者に1年間の研究成果を発表してもらい、卒業者5名（修士2名、博士3名）にお祝いとして図書券を手渡した（不参加の卒業生には郵送）。研究報告会終了後、奨学生、研究助成者と財団役員の交流を図り、食事会を催した（出席者26名）。

⑥奨学生に、日本、アジアの文化芸術を学んでいただく目的で、次のイベントに参加した。同時に役員、奨学生の交流を図った。

1) 2024年6月20日(木)【支出合計額：28,800円】

「外国人のための歌舞伎鑑賞教室「恋飛脚大和往来 封印切」鑑賞（於、サンパール荒川）（参加者16名）

2) 2024年8月25日(日)【支出合計額：0円】

奨学生OBの阮欣欣さんが参加した「第9回水と緑のまち江戸川 新進音楽家コンクール 受賞者記念コンサート」鑑賞（於、タワーホール船堀）（参加者4名）

3) 2024年9月20日(金)【支出合計額：117,000円】

「外国人のための文楽鑑賞教室「文楽の魅力、伊達娘恋緋鹿子、夏祭浪花鑑」鑑賞（於、新国立劇場）（参加者15名）

4) 2024年10月26日(土)【支出合計額：46,760円】

「外国人のための能楽鑑賞教室「狂言：瘦松、能：花月」鑑賞（於、国立能楽堂）（参加者12名）

⑦40周年記念事業の美術展関連の現役奨学生に関わる支出「生活指導・助言」

【支出合計額：764,681円】

詳細は以下の（3）の②に記す。

（3）40周年記念行事（特別費用準備資金から使用）【総額：8,096,352円】

①上映会 2024年12月2日(土)【支出合計額：5,072,854円】

奨学生OBキムピロンさんが制作した神林章夫前理事長のドキュメンタリー映画

『私は群山に生まれて7年、それから引き揚げて……』を東京渋谷のユーロライプにて上映した（入場者約60名）。映画終了後に近くの「居酒屋アシタマ」で交流会を催す（参加者約40名）

奨学生OBのキムピロンさんには、映画のDVDの制作（150部）も依頼し、関係者・役員・奨学生・奨学生OBなどに125部を配付した。

②美術展 2024年12月22日(日)～28日(土)【支出合計額：3,023,498円（うち、現役奨学生に関わる支出「生活指導・助言」は前述した通り764,681円）】

『桜梅桃李・栗柿銀杏 途上の芸術家たち』—公益財団法人神林留学生奨学会40周年記念美術展—を上野の森美術館別館ギャラリーで開催。入場料は無料。

奨学生・奨学生OB・関係者16名が31点の作品を展示し、来場者はのべ732名となつた。

（4）その他

①40周年記念美術展に、12月19日(木)から12月23日(月)まで、台湾東華大学の林永利教授と湯運添教授を日本に招待し、故奨学生OB鄭挺甄さんの作品を台湾から持って来てもらった。また、12月29日(日)から1月1日(水)まで、理事長、前理事長夫人、加茂が作品を返却するために台湾を訪問した。費用は前述した美術展の費用に含む。

②特定費用準備資金の残金1,903,648円は、2024年度第5回理事会の承認を受けたうえで、流動資金に繰り入れた。

③国際セミナーWeel-being and the Future of Industrial Relationsを共催し、費用の一部を負担した。【支出合計額：332,191円】（雑費より支出）

2. 附属明細書について

2024年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以上